【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公開番号】特開2003-168557(P2003-168557A)
【公開日】平成15年6月13日(2003.6.13)
【出願番号】特願2001-363774(P2001-363774)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０５Ｂ　33/06
　Ｇ０９Ｆ　 9/30
　Ｈ０５Ｂ　33/14
【ＦＩ】
　Ｈ０５Ｂ　33/06
　Ｇ０９Ｆ　 9/30　　３４２Ｚ
　Ｇ０９Ｆ　 9/30　　３６５Ｚ
　Ｈ０５Ｂ　33/14　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成16年6月24日(2004.6.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　発光層を有する有機層を少なくとも一方が透光性の一対の電極によって挟持してなる積層体と、透光性の電極の少なくとも２個所以上から引き出すように設けられる引き出し部と、前記引き出し部に接続され前記積層体に定電流を供給する電流駆動源と、を備えてなることを特徴とする有機ＥＬパネル。
【請求項２】
　前記透光性の電極から少なくとも２つ以上の引き出し部を引き出し形成し、この各引き出し部にそれぞれ電流駆動源を接続することを特徴とする請求項１に記載の有機ＥＬパネル。
【請求項３】
　発光層を有する有機層を少なくとも一方が透光性の一対の電極によって挟持してなる積層体と、前記積層体の全周もしくは周囲の一部に形成されるとともに前記積層体の透光性の電極に接する前記透光性の電極よりも導電率のよい金属層と、前記金属層から引き出すように設けられる引き出し部と、前記引き出し部に接続され前記積層体に定電流を供給する電流駆動源と、を備えてなることを特徴とする有機ＥＬパネル。
【請求項４】
　前記金属層から少なくとも２つ以上の引き出し部を引き出し形成し、この各引き出し部にそれぞれ電流駆動源を接続することを特徴とする請求項３に記載の有機ＥＬパネル。
【請求項５】
　前記引き出し部は、前記積層体側に前記電流駆動源側よりも幅の広い広域部を形成してなることを特徴とする請求項１から請求項４の何れかに記載の有機ＥＬパネル。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００６】
【課題を解決するための手段】
本発明は、前記課題を解決するため、発光層を有する有機層を少なくとも一方が透光性の一対の電極によって挟持してなる積層体と、透光性の電極の少なくとも２個所以上から引き出すように設けられる引き出し部と、前記引き出し部に接続され前記積層体に定電流を供給する電流駆動源と、を備えてなるものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、前記透光性の電極から少なくとも２つ以上の引き出し部を引き出し形成し、この各引き出し部にそれぞれ電流駆動源を接続するものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、発光層を有する有機層を少なくとも一方が透光性の一対の電極によって挟持してなる積層体と、前記積層体の全周もしくは周囲の一部に形成されるとともに前記積層体の透光性の電極に接する前記透光性の電極よりも導電率のよい金属層と、前記金属層から引き出すように設けられる引き出し部と、前記引き出し部に接続され前記積層体に定電流を供給する電流駆動源と、を備えてなるものである。